

## 助成対象事業成果報告書(概要版)

制度名	情報バリアフリー通信・放送役務提供・開発推進助成金
助成対象事業名	聴覚障がい者向けライブ字幕サービス
助成対象事業者名	株式会社アイセック・ジャパン
助成金の額	10,387千円

### 【助成対象事業の全般について】

①	助成対象事業の概要	聴覚障がい者の QOL を高めるためのライブ字幕サービスとして、高等教育・講演会・議会のライブ字幕に加え、ローカル TV 局のライブ番組に Web 字幕を提供する
②	助成対象事業の目標	ライブ字幕の提供において、自立化に向けて AI とのハイブリッド化を実現し、効率化をはかる。議会・大学・講演会・ローカル TV 局において、新規ビジネスを獲得する。

### 【令和3年度実施部分について】

③	助成対象事業の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 大学・高校に学ぶ聴覚障がい学生の授業の支援</li> <li>② 講演会・セミナーでのライブ字幕の提供</li> <li>③ 議会におけるライブ字幕の提供</li> <li>④ ローカルテレビ局のライブ番組への字幕提供</li> </ul>
④	助成対象事業の成果	<p>①普通高校・大学に通う聴覚障がい生徒に対する支援では、都立高校に通う聴覚障がい生徒1名への情報保障。筑波技術大学および沖縄大学、武庫川女子大学での情報保障を実施した。沖縄大学ではハイブリッド字幕の提供を行った。ハイブリッド字幕については、既存の手入力より約50%の省人化がはかれている。</p> <p>②講演会・セミナーの情報保障およびラジオ放送の字幕提供を実施した。講演会・セミナー 264 時間、ラジオ放送 36 回</p> <p>コロナの関係で、講演会・セミナー関係はほとんどがオンライン開催に移行したが、その中でもライブ字幕の有効性が確認された、某外資系企業のオンラインセミナーにはすべて AI ハイブリッドのライブ字幕が付くようになった。</p>

		<p>③市町村・都道府県議会の字幕提供では、前年度から継続している佐賀県武雄市議会・福井県議会、千代田区議会に加え、今年度から東京港区議会で聴覚障害者向けライブ字幕を実施した。その他、議会関連の実施に関する問い合わせが数多くあった。</p> <p>④ローカル TV 局のライブ番組への Web 字幕提供については、コロナ感染拡大の関係でローカル放送局の経営状況にも影響があり、実施することができなかった。</p>
⑤	補足説明事項	